

## 町の将来像

### グラントデザインを示せ

### 全体を示す段階ではない



にしむら まさのぶ 議員  
西村 将伸

**問** 私自身、議会は住民自治の基本と考えていて、時代に合った議員の考えや議会運営になれば、行政も職員の意識も変わると思っている。  
幡多郡下でも半数の市町村が議会基本条例を制定し、議員活動を始めているが、黒潮町の議会には変わろうとする意欲さえ感じない。

**答** 大西町長  
行財政運営の理念は、組織にかかると考えている。人員面は削減しておきながら、サービス生産総量は上げていくといったことで、しっかりと生産性という意思を持った組織が出来上がると思っている。  
町の将来像への最大の理念は持続可能なまちづくりにある。地域経済の縮小が人口流出を招き、人口流出がさらに経済の縮小を招くといった現況を断ち切るために、観光施策に代表されるような交流人口の拡大、ならびに町内生産品のより高度な外商戦略を考えている。

地方創生にかかる総合戦略は27年度の取り組みとなっていることから、現時点で全体を示す段階ではない。

## 統一地方選挙

### 投票率向上にどう取り組む

### IWKでの政見放送は違法

**問** 投票率は、全国的に低下する傾向にあり、選挙のたびに話題になっている。

2015年度は統一地方選挙の年であり、黒潮町においては、県議会議員及び町議会議員選挙が執り行われる。

黒潮町でも身近な町議会選挙でさえ投票率は下がり続けていて、選挙管理委員会としても投票率を上げるための取り組みが問われる。

四十市の首長選挙では毎回、候補者の政策論争が行われ、市民の好評を得、関心を集めている。投票率向上に寄与できる方法だと思いが、取り組む考えはないか。

また、黒潮町はケーブルテレビや告知端末が整備されていることから、IWK放送に協力依頼をすれば、簡単に立候補者全員が政策を訴えることができる。町民が選挙を身

近に感じ、選挙に関心を寄せ方法に思うが。選挙管理委員会の取り組みを問う。

**答** 武政総務課長

黒潮町の投票率は、選挙離れというよりも、各選挙への関心度によって左右されていると思われる。今回の統一地

方選挙ではIWK放送や告知端末を使って選挙に向けた啓発活動や周知を図りたいが、立候補者の政策を訴える機会については、衆議院選挙、参議院選挙、都道府県知事の三つ以外は、公職選挙法に触れるため、政見放送はできないことになっている。



黒潮町総合振興計画と町勢要覧